

授業科目名	プレゼンテーションスキルズⅡ			担当教員	高瀬 文広	
開講年次	3年後期	セメスター	6	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	選択	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	保健医療専門家として、他分野の専門家やステーク・ホルダー全般の理解と信頼を得られる発表・説明のあり方に関する理解とそれを行う技能を獲得する。					
到達目標	<p>① 主張や情報を、相手と目的に応じて適切な言語と十分な資料を使用して発表することができる：具体的には、ある課題に対する対処法や解決法の情報を収集して、妥当性と関連性のあるものを選択する、情報を利用しつつ自分の見解をまとめる、受け手の理解を最大化するような発信の様態を考案する、発信する、という一連の活動を最大限に行うことができる。</p> <p>② 他者の発信に対し、有意味な反応をすることができる（批評を行うことと、批評を受け入れ、改善に結びつけることが、できる）。</p>					
授業計画（受講者数等によって、一部、変更することがある）						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	プレゼンテーションの目的と方法、マインドマップ作成方法および進行予定の確定	講義	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟	90分	高瀬	
			(予習) ①の担当者は個人発表準備	30分		
2	マインドマップを使用した小プレゼンテーション①とその批評	演習	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟	90分	高瀬	
			(予習) ②の担当者は個人発表準備；①担当者は内省と分析	30分		
3	マインドマップを使用した小プレゼンテーション②とその批評	演習	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟	90分	高瀬	
			(予習) ③の担当者は個人発表準備；②担当者は内省と分析	30分		
4	マインドマップを使用した小プレゼンテーション③とその批評	演習	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟	90分	高瀬	
			(予習) ④の担当者は個人発表準備；③担当者は内省と分析	30分		
5	マインドマップを使用した小プレゼンテーション④とその批評	演習	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟	90分	高瀬	
			(予習) ⑤の担当者は個人発表準備；④担当者は内省と分析	30分		
6	マインドマップを使用した小プレゼンテーション⑤とその批評	演習	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟	90分	高瀬	
			(予習) ⑥の担当者は個人発表準備；⑤担当者は内省と分析	30分		
7	マインドマップを使用した小プレゼンテーション⑥とその批評	演習	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟	90分	高瀬	
			(予習) ⑦の担当者は個人発表準備；⑥担当者は内省と分析	30分		
8	中間まとめ よいプレゼンテーションの構成要素	演習	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟	90分	高瀬	
			(予習) ⑧の担当者は個人発表準備；⑦担当者は内省と分析	30分		

9	マインドマップを使用した小プレゼンテーション⑦とその批評	演習	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟	90分	高瀬
			(予習) ⑨の担当者は個人発表準備；⑧担当者は内省と分析	30分	
10	マインドマップを使用した小プレゼンテーション⑧とその批評	演習	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟	90分	高瀬
			(予習) ⑩の担当者は個人発表準備；⑨担当者は内省と分析	30分	
11	マインドマップを使用した小プレゼンテーション⑨とその批評	演習	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟	90分	高瀬
			(予習) ⑪の担当者は個人発表準備；⑩担当者は内省と分析	30分	
12	マインドマップを使用した小プレゼンテーション⑩とその批評	演習	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟	90分	高瀬
			(予習) ⑫の担当者は個人発表準備；⑪担当者は内省と分析	30分	
13	グループ発表とルーブリックを使用した形成的評価（自己評価と他者評価）	演習	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟	90分	高瀬
			(予習) ⑬の担当者は個人発表準備；⑫担当者は内省と分析	30分	
14	代表者発表会とルーブリックを使用した形成的評価（自己評価と他者評価）	演習	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟	90分	高瀬
			(予習) ⑭の担当者は個人発表準備；⑬担当者は内省と分析	30分	
15	フィードバック	演習	内省	不定 (30 - 60 程度か)	高瀬
先行履修科目					
テキスト	必要に応じてプリントを配布する				
参考文献	木下是雄：理科系の作文技術. 中央公論社（中公新書），1981. 久恒啓一：図で考える人の図解表現の技術. 日本経済新聞出版社，2002.				
メッセージ	本コースでは、感じること、考えること、他者にそれを話すこと、他者と話し合うこと、複合的な概念を組み立てること、不特定多数の他者にわかるように話すこと、書かれたもの・話されたことを批評すること、他者から学ぶことを、学びます。				
科目の位置づけ	この科目は〈リベラルアーツ・専門基礎科目〉であり、「人間」「環境」「健康」「国際」の4つの主要概念の「人間」の部分にあたり、保健医療専門家として理解と信頼を得られる受信と発信のあり方の理解とそれを行う技能を獲得する科目として位置づけられている。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
			○	◎	
評価方法	批評活動への参加度 30%、プレゼンテーションの完成度 40%、グループ発表への貢献度 30%				